

## ●静かな公園で、てくてく探してみましよう。

暦の上では春の2月。まだまだ寒く少し寂しい公園ですが、この時期だからこそ、見られるものがあります。てくてく観察してみてください。

### ○ この時期に貴重な花、ロウバイ

・半透明の蠟細工のような花弁が特徴のロウバイは、この時期に公園内で見られる数少ない花です。



ロウバイ

目立つところだと民家園内の①にあります。日当たりが良いため開花が早く、その分早く散ってしまいます。そんな時は、茶畑の南側②へ。ここのロウバイは比較的長く咲いていますよ。

### ○ 公園で感じる、古河の歴史

・民家園を出てすぐ西に建てられた「③古河公方館跡」の碑。1455年に古河へ移り、古河公方と呼ばれた足利成氏とその子孫が、御座所、別荘として使った館の跡地で、県の指定史跡となっています。「公方様の森」や「御所沼」といった名称も、この館があったからこそですね。◎案内板や囲いが古くなっていましたが、古河ライオンズクラブさんから寄付により、石材の立派なものに生まれ変わりました。



古河公方館跡



クマザサ

### ○ 笹にもいろいろあるけれど

・園内各所にある笹ですが、この時期に見てほしいのはクマザサです。通常は全体が緑ですが、越冬する時だけ写真のように枯れて縁取られます。これが歌舞伎の化粧「隈（くま）取り」に似ている事から「隈笹」と名がついたそうです。茶畑から南西の⑥や雪筆園の辺りで見られます。

### ○ いろんな花芽や冬芽を観察

・⑥の愛宕川石碑の近くにあるネコヤナギは、茶色の殻（芽鱗）から、猫のしっぽのようなふわふわの花芽が顔を出します。

・⑦のこぶし野他、中山台などにあるコブシは、3月頃になると綺麗な花を咲かせますが、冬の間は、ふわふわの芽鱗に覆われて、春を待っています。その他にも、トチノキの様に樹液で冬芽を乾燥から防ぐものなどもあり、植物のたくましさを感じますね。



ネコヤナギ



コブシ



### ● 早春の楽しみ 梅はもうすぐ開花です

■ 昨年植樹して復活した④梅林では、つぼみがたくさん。まだまだ若くて小さな木ですが、立派な梅林になるように経過観察中です。



紅梅

### ● 森で見つかる、こんな跡

・犬や狸とは違い、五本指がくっきり出ていることが特徴のこの足跡は、アライグマのもので、近年野生化して農作物や生態系への被害が拡大しています。昨年公園でもサギが食べられるなどの被害があり、一匹捕獲しました。見た目はかわいいですが、狂暴な性格なのでご注意ください。



・目線を上に向けると、木の幹がこの様な状態に。キツツキの仲間のアカゲラなどが突いた跡なんですよ。

## ●花は少なくとも発見はたくさんあります。調べてみると楽しいですよ。てくてく情報、次号もお楽しみに！